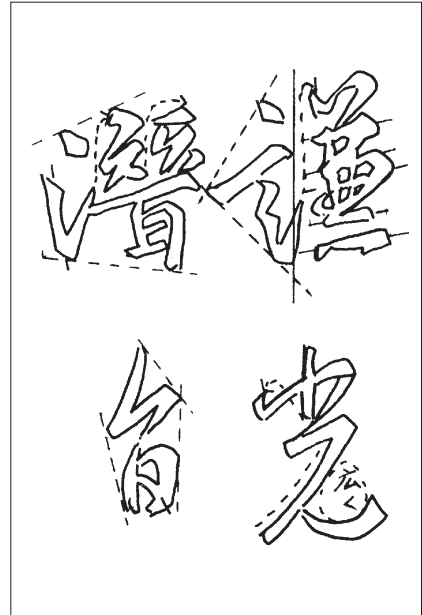


◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料430円



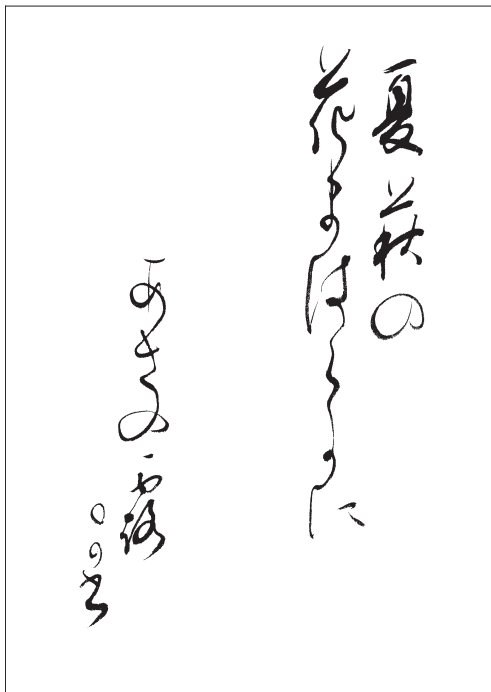
潜 二画目の点は一画目の縦画より離れた位置に。二、三、四画目と連綿。
光 この字は二ヶ所不自然な箇所があります。三ズイはこの形ではないと思います。「日」も終画精彩がありません。別の拓本を参考に掲載します。
旨 中の狭い縦長の形。「日」の最後の点はかなり右を下けている。

- 1、字句 謙光潜旨
- 2、形式 半紙タテ使用。右に「謙光」、左に「潜旨」と臨書し、左余白に落款「〇〇臨」と調和を工夫し書き入れる。
- 3、概観 王羲之は西暦三百年代に多くの名品を残しています。考えてみて下さい。王羲之が誕生してから現代までどれ程の書人が現れ、どれだけの作品が書かれたか。この長い年月にも途中で消えさることなく、興福寺断碑は長い間土中であつたが、いま私達の前にあるということは大変なことす。これが古典です。現在、日本に書家といわれる人が何万、何十万いるかわかりませんが、十年後、百年後、千年後にどれだけ残るでしょうか。良いものだけが残される「歴史のふるい」が待ち構えているのです。そんなことを考えると、王羲之が「書聖」といわれるのも納得がいきますし、古典の重みを改めて感じます。
- 4、各字のポイント
 - 謙** 一画目の点を右に寄せ、言偏は右に壁をつくる意識で。これが偏と旁をうまく添わせるコツです。旁の五本の横画はほぼ同じ方向へ。
 - 光** 二画目の点は一画目の縦画より離れた位置に。二、三、四画目と連綿。
 - 潜** この字は二ヶ所不自然な箇所があります。三ズイはこの形ではないと思います。「日」も終画精彩がありません。別の拓本を参考に掲載します。
 - 旨** 中の狭い縦長の形。「日」の最後の点はかなり右を下けている。



興福寺断碑 王羲之

半紙課題(予告) (八月二十二日締切)



平岡華雪先生書 夏秋の花疎らかに朝の露(句仏)
 訳：茶を煮る煙が朝から夕までよい香気を立てている。



平岡華雪先生書 茶煙永日香し(方回)

鈴木静村会長講話に寄せて

高橋香樹

今年の「全国書筵の集い」の講演は、先月号でお知らせしたように、講師は会長の鈴木静村先生にお願いすることとなりました。

先生は永年にわたり、「漢字かな交じりの書」の研究、書作をされてきたことは皆様もよくご存じのことと思います。

書筵誌では、二十四年一月号より「漢字かな交じりの書」の部門を新設。静村先生は、毎号参考手本と解説をお書きになっています。その一月号に『漢字かな交じりの書』への取り組み』と題して意気込みを述べています。(いま一度ご覧下さい)。今回、講師を快諾して戴きました、先日お会いした時に先生は、「分り易く」との意図のもと映像を使っての講演を企画しているとのこ

とでした。お話だけでなく、先生の筆使いを目の当たりできる絶好の機会かと思えます。先生は、連綿は強弱の運筆であること、筆の面の返し等はなかなか話だけでは理解できないと強調されておりました。今回は、映像を使って先生の書における究極の用筆をご覧戴きたいと思えます。

本来でしたら会員の皆様全員に見て戴きたいのですが、会場の都合もあり、一〇〇人限定となります。定員になり次第締切りとさせていただきますので、早目の申し込みをお願い致します。

講演会場隣室で鈴木静村会長の
書作品、手本等展覧します。
十時～十一時、十二時半～一時

第二十二回 全国書筵の集い

今年は何年通り祝日・海の日の開催です。大変嬉しいことに、鈴木静村会長が今だからこそ話すことの出来る貴重な講話を具体的に解りやすく講演して下さいます。是非支部長先生始め多くの方のご出席をお待ち申し上げます。懇親会での席上揮毫もよい勉強となります。

日時 7月21日(月) 祝日・海の日

講演会 午前十一時から十二時半 四階 かえで

講師 鈴木静村会長

題 「永年の歩み 書筵の漢字かな交じり書」

懇親会 午後一時から三時半 三階 おおとり

研究部・推薦合格者の授賞式が行われます。

席上揮毫 高橋香樹 向山朴花

石田愁華 路川千曄(硬筆)

会場 ニューオータニイン東京(2号館)

(JR山手線大崎駅北改札口より東出口方面徒歩2分)

会費 講演 四、〇〇〇円

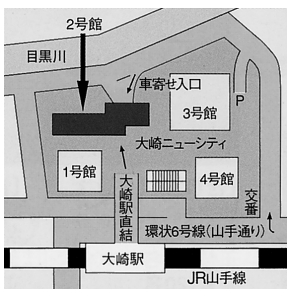
懇親会 一〇、〇〇〇円

郵便振替送金でお願いします。

申込 6月2日(月)から

定員になり次第締切ります。

※懇親会場で筆の販売します。
(二割引)



興福寺断碑



謹密

(授) 公文林郎。適舉從班也。公謹密居(體)。
公に文林郎を(授く)。適舉して班に従う。公謹密して(体に)居り、

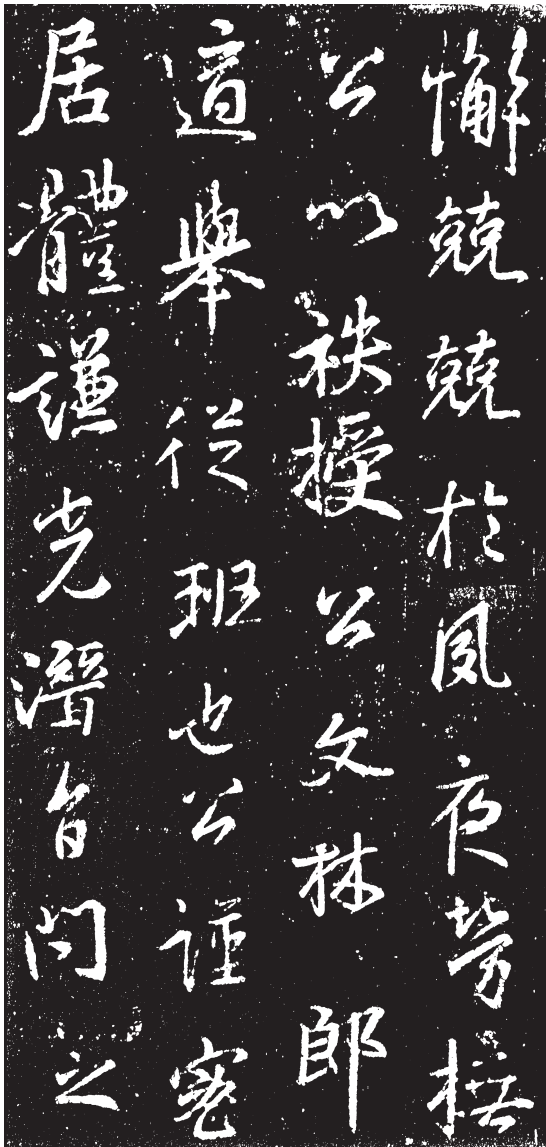
条幅臨書部は半紙臨書部と連動
しています。半紙に取り組んだ
方は是非条幅にもチャレンジし
てください。また条幅だけ出品
も大歓迎です。

▽字詰め自由。

▽落款は「○○臨」と調和を

工夫し書き入れる。

▽出品料五四〇円。

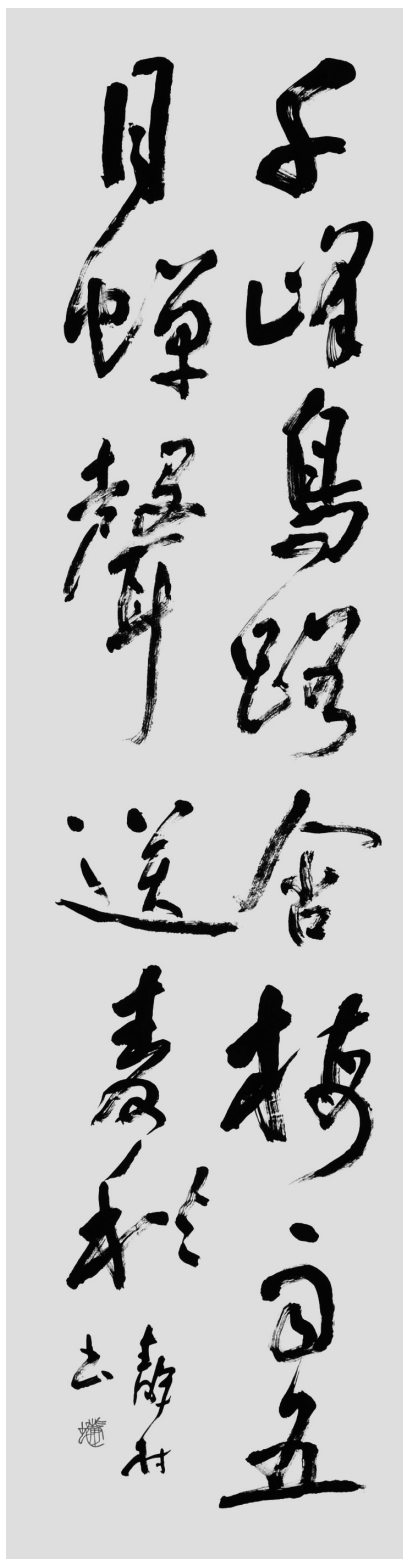


◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

A

鈴木静村書

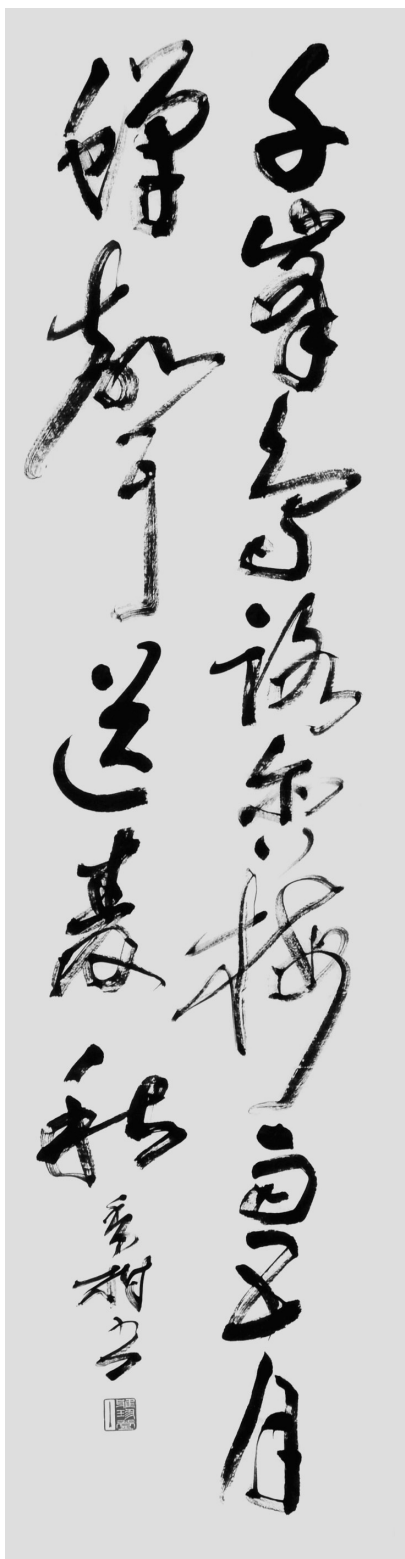
千峰鳥路含梅雨 五月蟬聲送麥秋 (李嘉祐)
千峰の鳥路梅雨を含み、五月の蟬声麥秋を送る。



B

高橋香樹主幹書

両行共、下辺に墨量多く、重苦しい。墨継ぎ後の用墨に留意のこと。千 バネ強く鋭く。鳥路 連綿ゆるやかに、転折しつかりと。五 横画にも味を。月タテ画、少し長さがほしい。聲 書体多い。字典で明確に覚える。送 之繞のびやかに。麦秋 字幅狭く・広く。落款は周りの余白を観て各自で工夫。



草書の作では連続線を多用した作とすることが多いが、今回は、敢えて草書単体で、私の作としては曲線を多めにしました。全体に形は少し抑え気味にした中で、「梅」と「聲」を大字とし、横巾をとり変化をつけました。墨継ぎは、「雨」と「送」。一行目九字、二行目五字の構成としました。
訳：多くの峰々のけわしい山路に、梅雨はいすわり五月の蟬の鳴き声は麦の収穫期を見送る。

予告 (八月二十二日締切)

以黄卷爲師輔

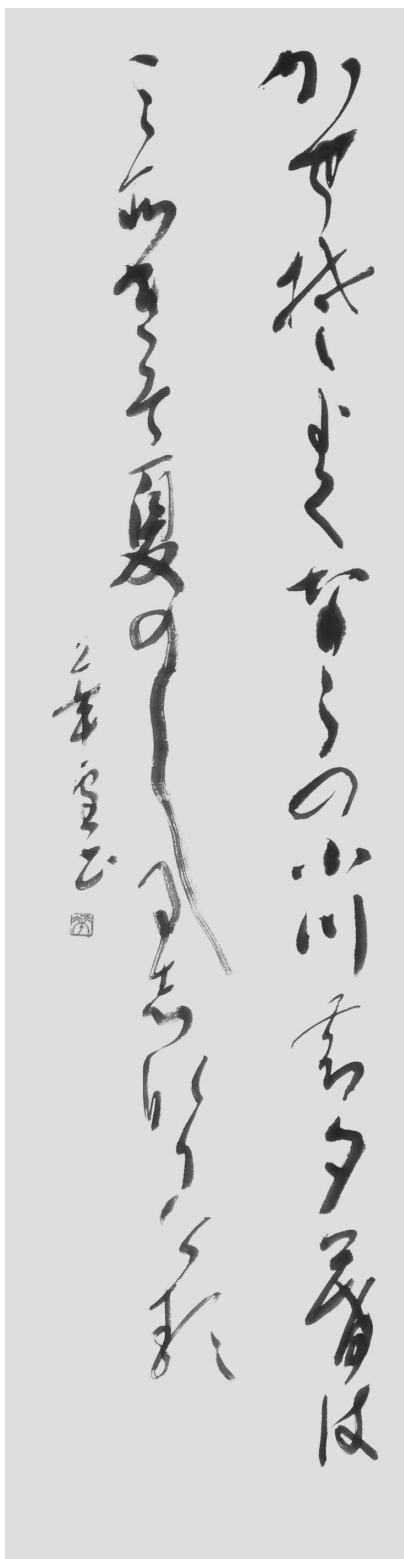
以筆硯爲朋友 (馮京第)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

風そよぐならのをがはのゆふぐれはみそぎぞ夏のしるしなりける (藤原家隆)
かせ楚よ久ならの小川農夕暮は三所きそ夏のしる志那り介類



B

福田玉翔先生書

風曾よ久なら能小川の夕暮者三處支所那徒のしるし奈利希流



学び方

半切二行書きから始めて、二行書きの範疇で二行目後半を三行にする形、一行目前半を三行にする形、そして今回一行目下部を三行にする形の四パターンを書きました。あと二行目上部を三行にする形が残っていますが、それぞれご自分で工夫してみてください。

私は調子に乗ると連綿が長く続いてしまうので、いつも反省しています。墨継ぎの場所以外でも故意に切る必要があります。その時に、連綿を切ったら谷間ができないように上に接近させるのがコツです。その中で出だしだけは空白を作るくらいに字間をあけると、あとの流れが作り易くなります。お手本を見て書かれる方も、時には連綿の仕方を変えてみるのも遊びとして体験してみてください。

予告 (八月二十二日締切)

山里の峰のあま雲とだえして夕べすゞしきまきの下露 (新古今和歌集)

小倉百人一首第九八番歌。

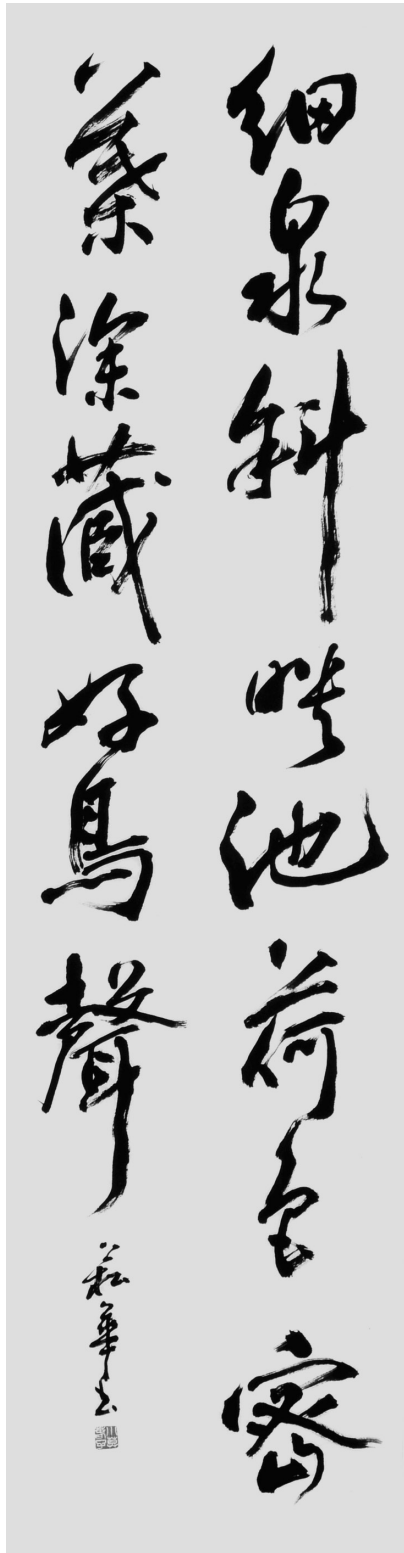
歌意：風がそよそよと榎(なら)の葉に吹きそよいでいる榎の小川(京都上賀茂神社前を流れる参拝人が手口を清める御手洗川)の夕暮は、もう秋のような気配だけれど、夏越の祓(なごしのはらえ)のために行なわれている禊(みそぎ)が、いまは夏であるしるしなのだなあ。

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

条幅部 随意参考

小暮 菘華 先生書

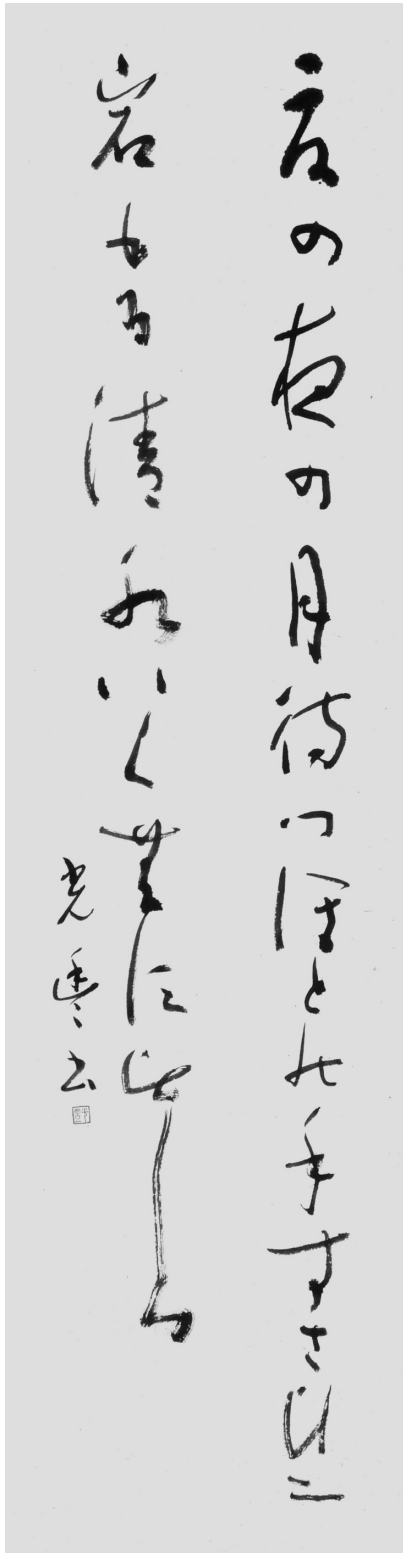
細泉斜映池荷色 密葉深藏好鳥聲 (魏裔介)
 細線斜に映ず池荷の色、密葉深く蔵す好鳥の声



訳：細々とした水は斜に流れて池上のはすの花の色に映じ、接しあえる葉は鳥をかくすのみか声を漏らさぬ程に深い。

絹村 光豊 先生書

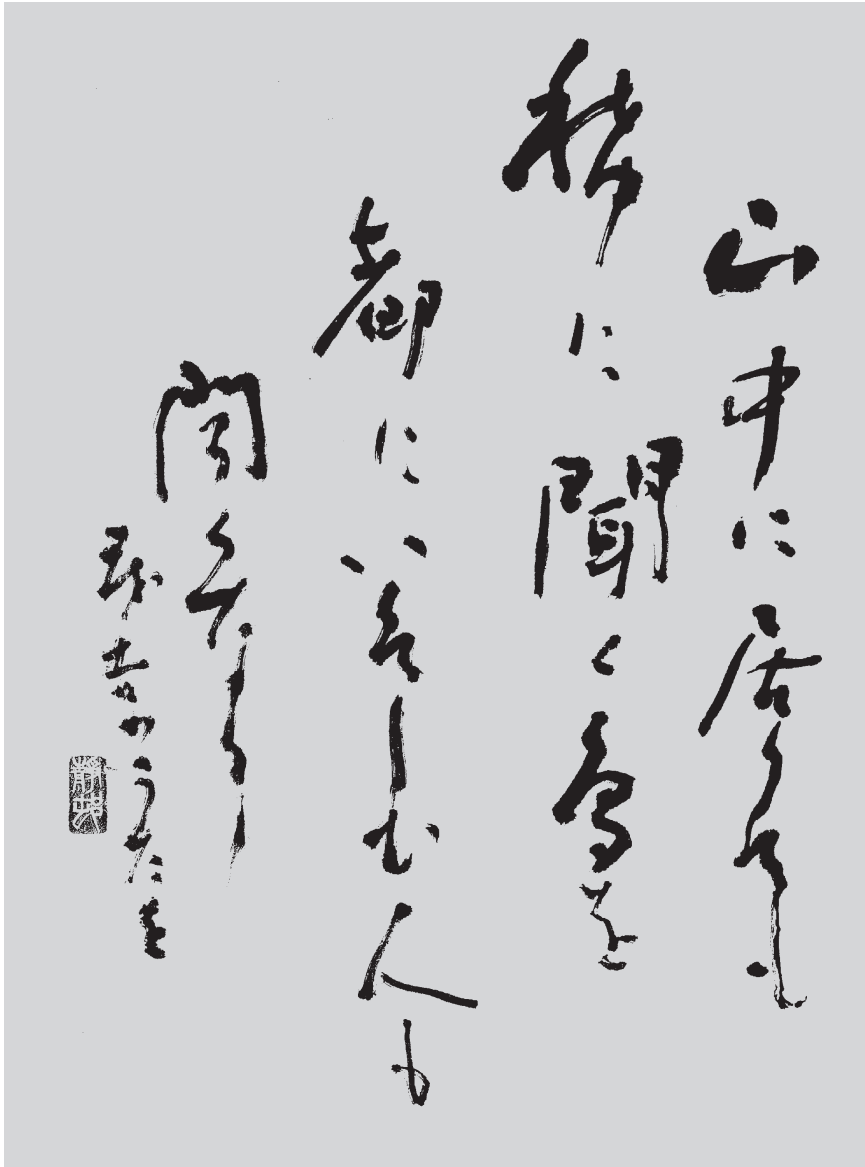
夏の夜の月待つほどの手すさびに岩もる清水いく掬ひしつ (金葉和歌集 藤原基俊)
 夏の夜の月待川ほと能手すさ比二岩もる清水い久無須比しつ



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条随を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条随を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

鈴木静村書

60歳のとき中国旅行で杭州にて購入した兼毫の6号筆。もう毛先は磨り減ってしまっていたが、腰が強いのが魅力。この作も一筆書きで途中の墨継ぎはなし。口誦みつつ呼吸を合わせると、自然と文節に切れて、連綿も無理なく一貫。これが一筆書きのありのままの姿。
 —ただこの落款は、「聞くなり」に「茂吉のうた」を寄せ、「印」で快く緊める。ここが極め、期待しています！



やまなか
 山中に

居りても稀まれに

聞く鳥を

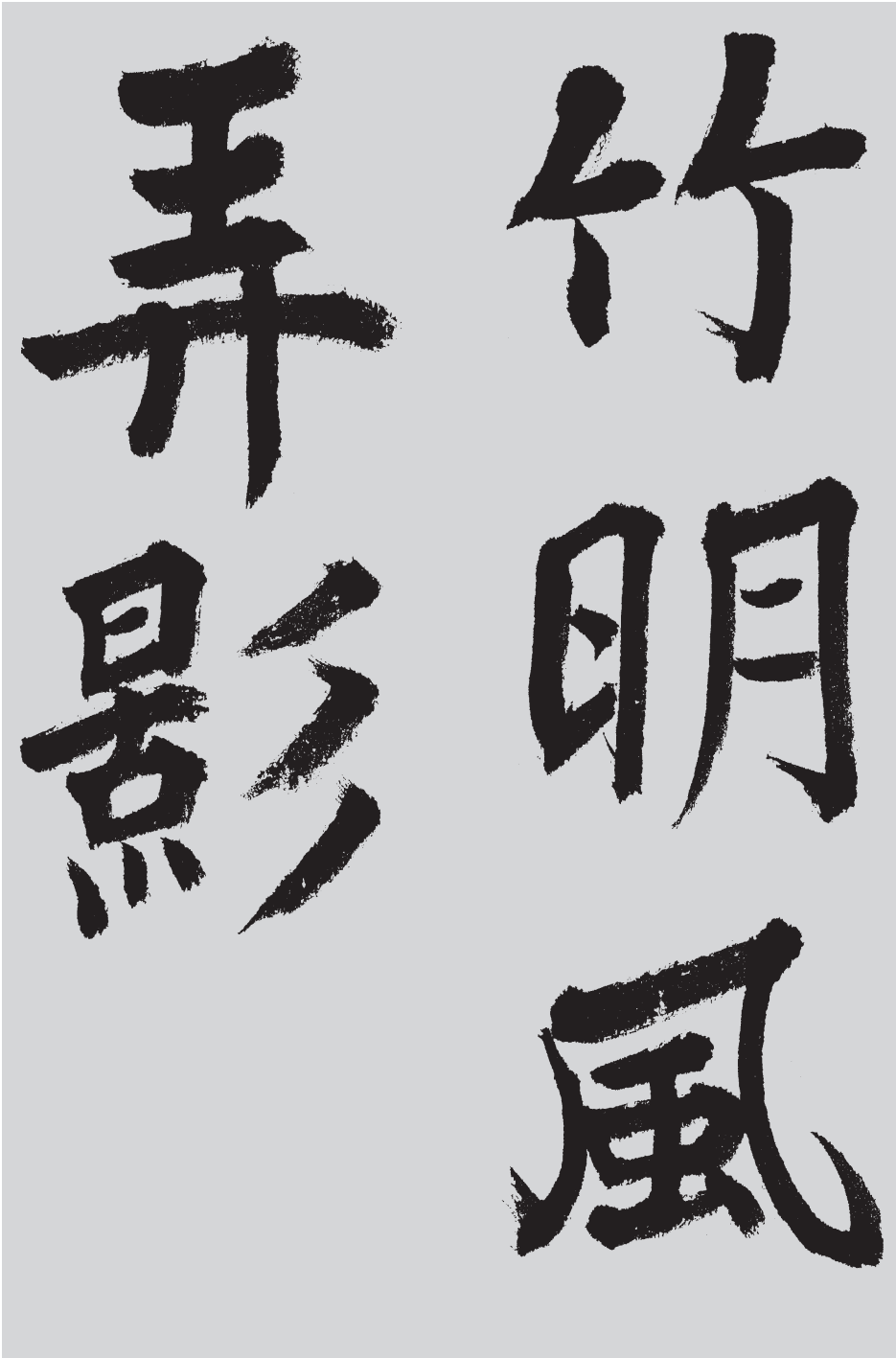
都にいそしむ

人も聞くなり

(斎藤茂吉)

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

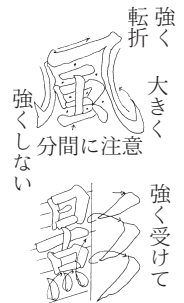
①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

竹明かに風影を弄す(林希逸)
訳：青々たる竹影は風にうごき

〈楷書に自信作を〉
楷書の用筆は書法上の基幹の一つ。ごまかしが利かない書体。それだけにむずかしい。楷書に満足作ができたら大きな自信です。そして「力」となり「財産」。

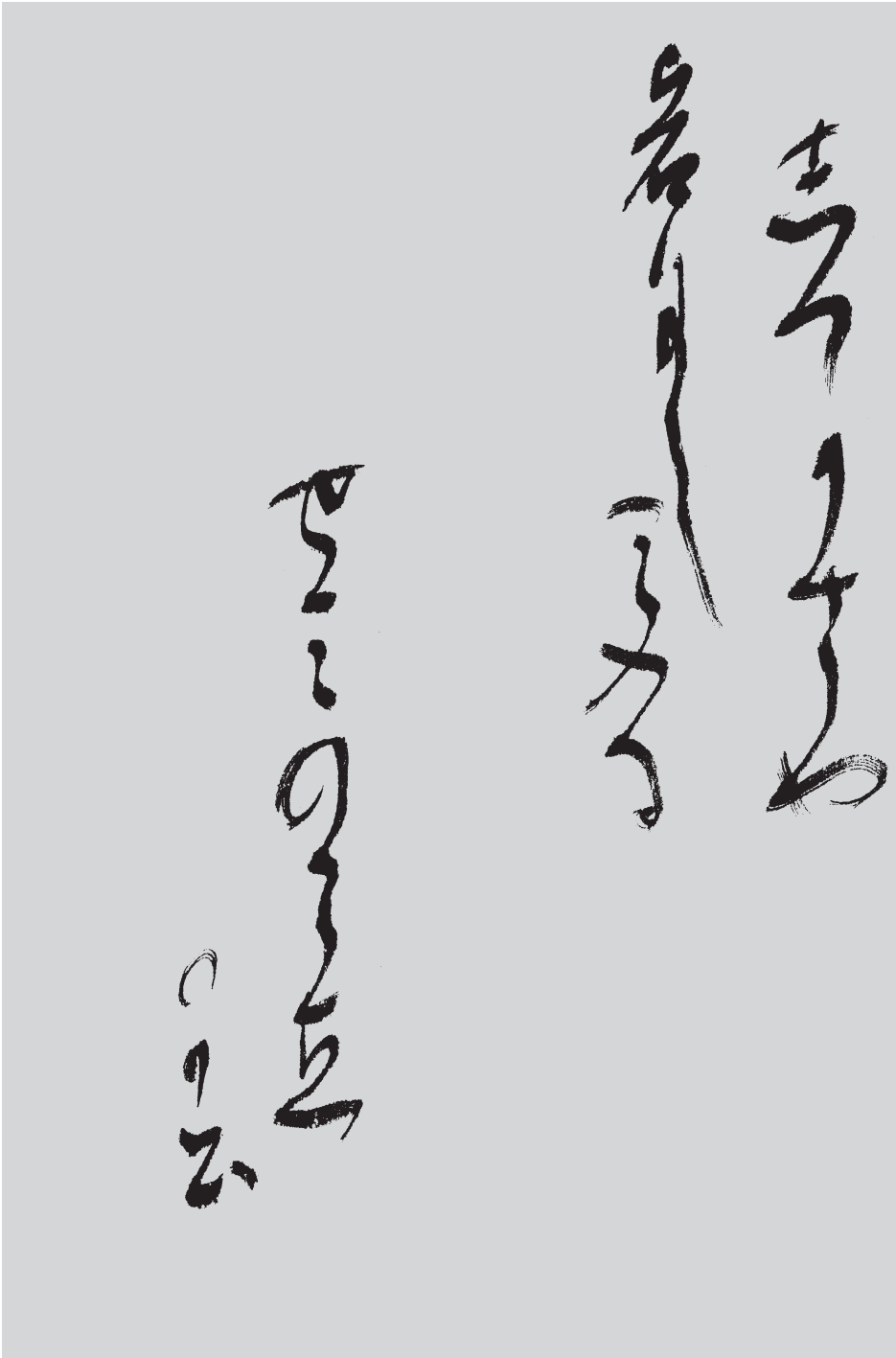


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

- ①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

平岡華雪先生書

閑さや岩にしみ入る蟬の声(芭蕉)
志しつ可かさや岩いるし三み入るせ三みのこ恵え



〈まず、遅速を〉
初歩段階の作品で特に気付くことの一つは、「遅速」の用筆。どこを速く、どこを遅く…かが解っていない。これは基礎用筆の一つで、ぜひ習得してほしい。これが会得できると作品は一変する。(先生の用筆を見るのが第二) 一方、自分の用筆も先生に見ていただき、納得するまで深めてほしい。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

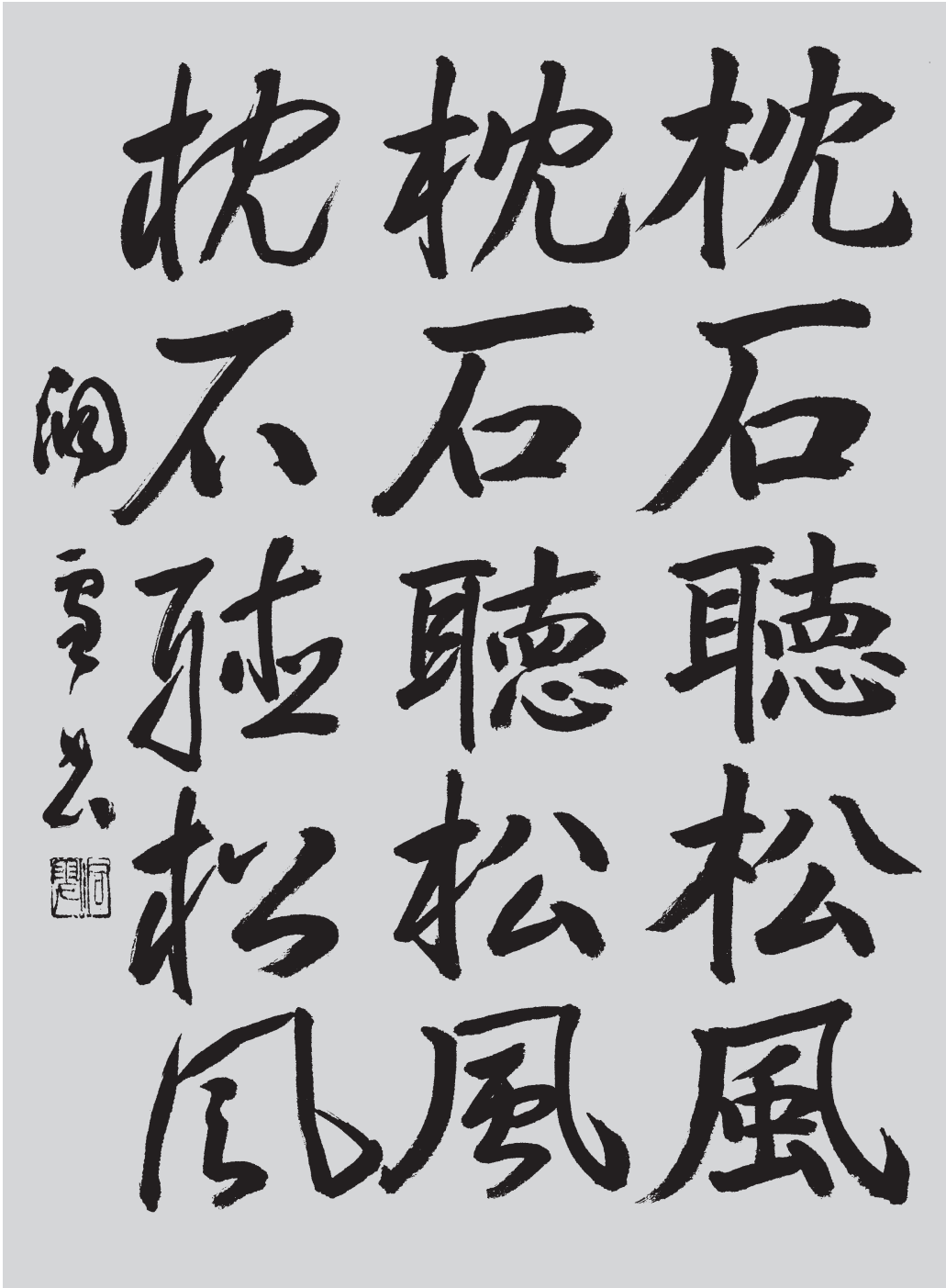
- ①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

楷、行、草、三 体 参 考

加藤洞雪先生書

枕石聽松風（陸游）
石を枕にして松風を聴く。

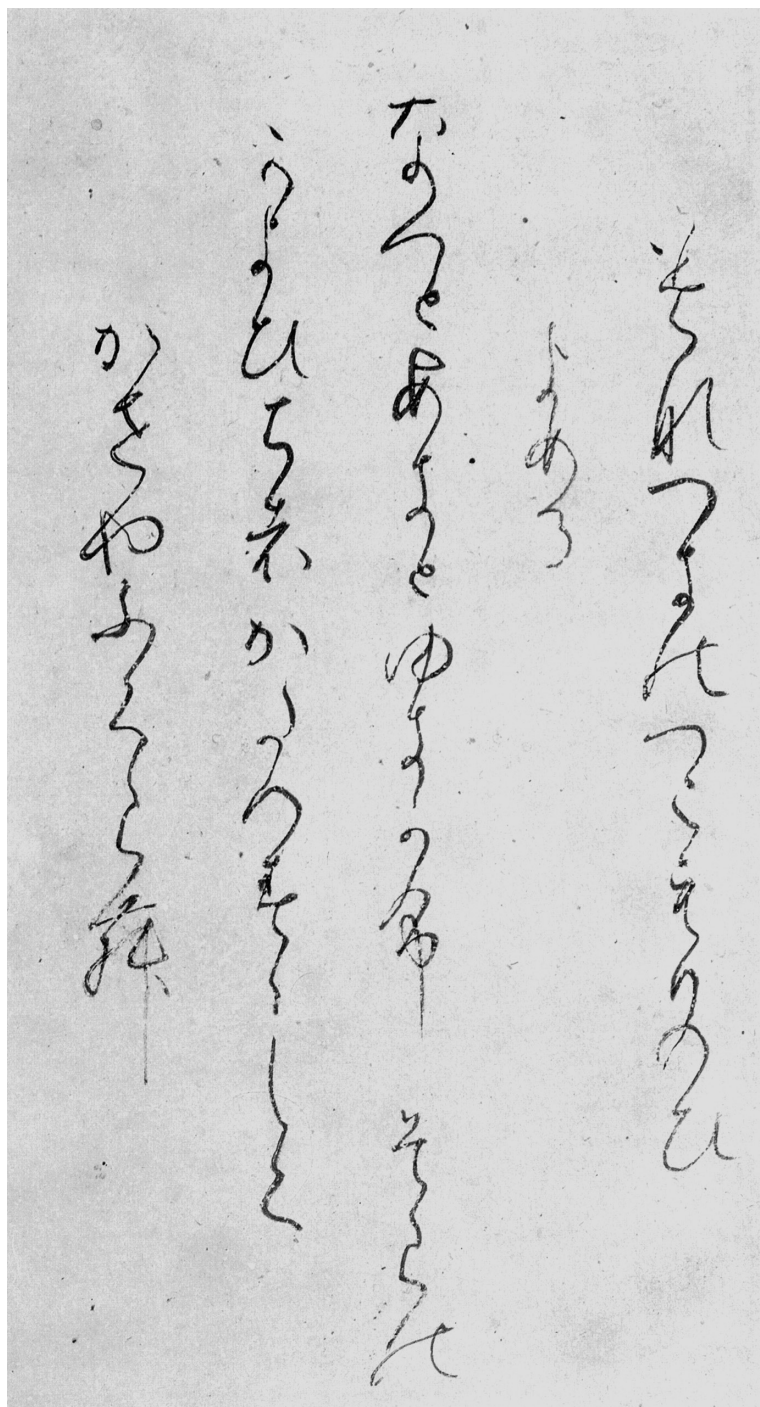
訳：静かに松風の音を聴く。



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

高野切 第二種

美那^美支能^支のつごもりのひよめる
なつとあきとゆきかふそらのかよひぢはかたへすしくかぜやふくらむ^舞

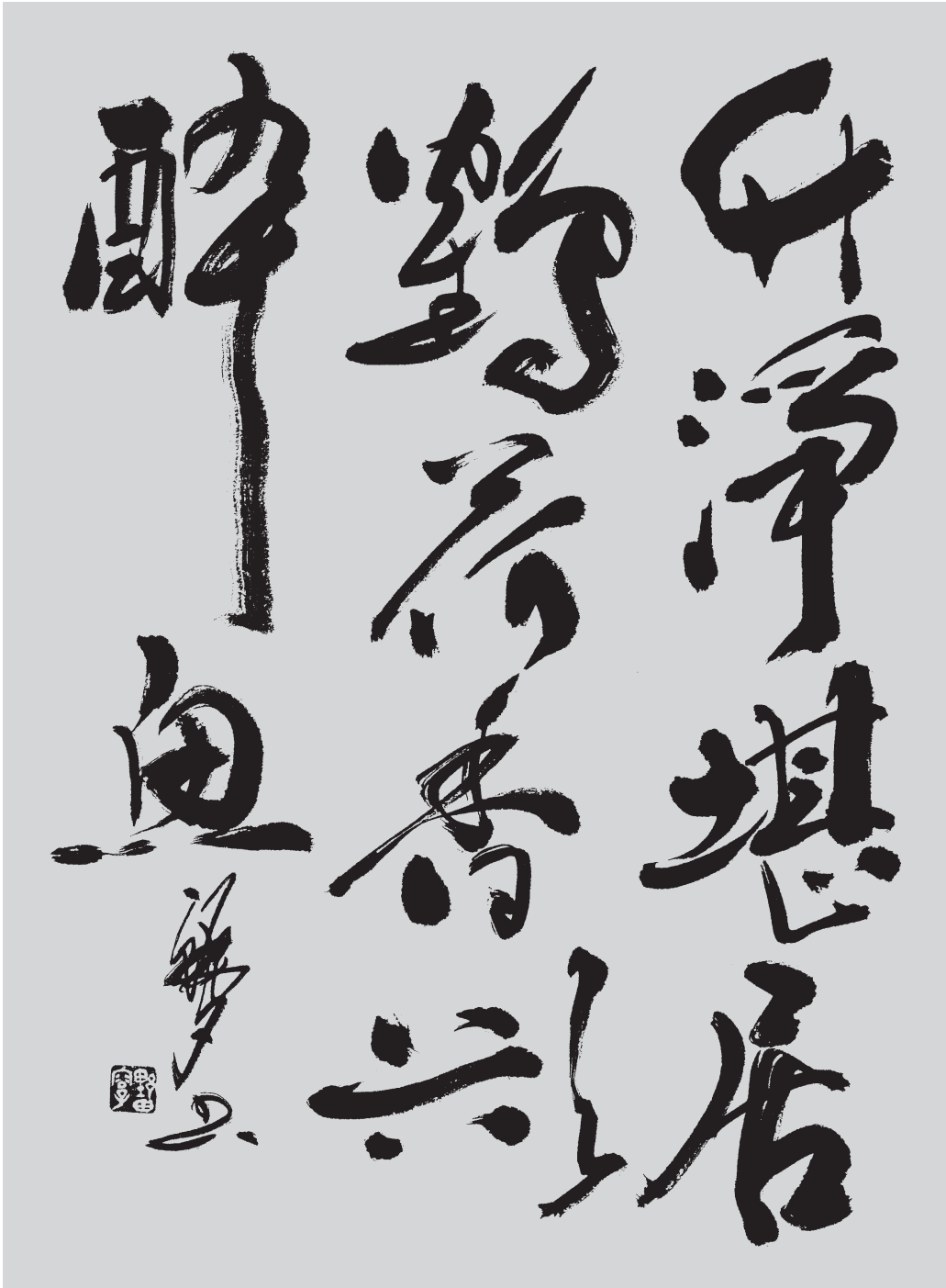


三井文庫蔵

1. 随意部参考として出品してください。

野
田
麗
夕
先
生
書

竹淨堪居鶴 荷香欲醉魚（黄庚）
たけきよ つるお 荷香欲醉魚（黄庚）
竹淨く鶴居るに堪えたり、荷香魚醉わんと欲す。
ほっ



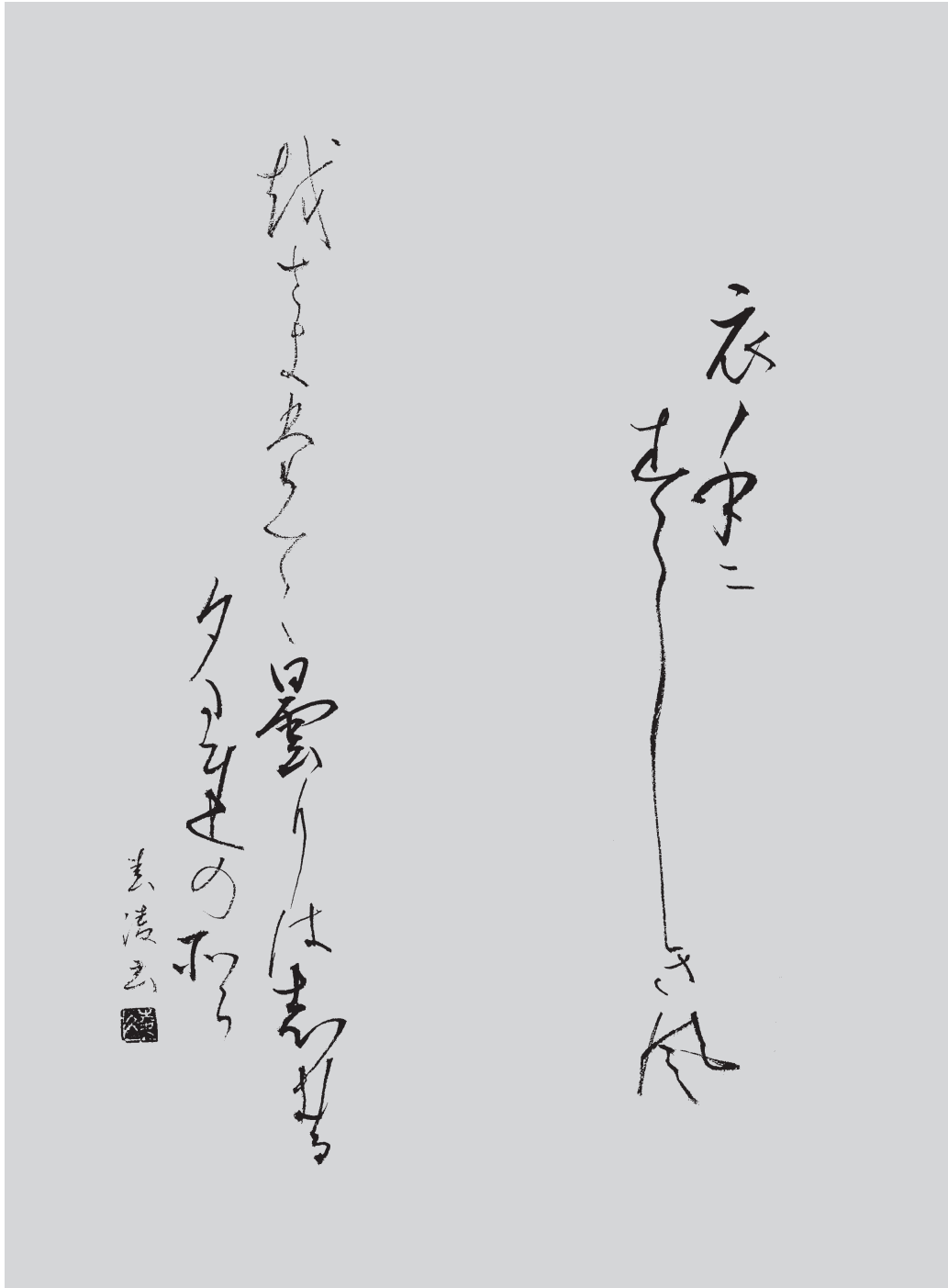
訳：竹は清浄にしてその林中には鶴が栖むによろしい。蓮の花の香りはつよくて魚を酔わしめんとしている。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

随 意 部 参 考

武井春凌先生書

衣ころも手ににすずしき風かぜををささき立たて、曇くもりははじむる夕立ゆふだちの空そら（風雅集 宮内卿）
衣手に二春にしき風越かぜさ支堂またて、曇くもりはは志しむる夕多遅たちの所ところ



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

湯澤春翠先生書

路川千曄先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

潮風をいっばいに受けながらゆったり
進む水牛車の歩みは、この島の時の
流れを象徴してゐる。

就鳥座の三星には、孝行息子が老いた
両親を担ぐ姿に思ふものがあつる。
星合ひや
われは嬉しき親にならぬ

課題1 (初段階以上)

鶯座の三星には、孝行息子が老いた両親を担いでいる姿に見たものがある。

星合ひやわれは嬉しき親になひ

「星の島」林完次
暁台が七夕を詠んだ句

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円

課題2 (初段階以下)

潮風をいっばいに受けながらゆったり進む水牛車の歩みは、この島の時の流れを象徴している。

「星の島」林完次